

2015 年 12 月 15 日

## プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

### 日興アセット、ハウスビューを更新

#### グローバル株式へのスタンスを小幅なオーバーウェイトに引き上げ

- グローバル株式をニュートラル(中立)から若干のオーバーウェイトに引き上げ
- 債券利回りの緩やかな上昇を予想し、グローバル債券をアンダーウェイト
- 中央銀行の金融政策の乖離継続により、2016 年の米ドル上昇基調を予想

日興アセットマネジメント(以下、「日興アセット」)のグローバル投資委員会(GIC)は、堅調な米国経済を背景に企業業績の向上が予想されることから、グローバル株式に対するスタンスをニュートラル(中立)から小幅なオーバーウェイトに引き上げることを決定しました。

また、グローバル債券利回りの緩やかな上昇が予想されることから、米ドルベースの投資家向けには、米ドル・キャッシュに対するグローバル債券のスタンスをアンダーウェイトに据え置きました。一方、米ドルは引き続き上昇すると予想しています。

日興アセットのチーフ・グローバル・ストラテジスト兼 GIC 議長であるジョン・ヴェイルは、「日興アセットの新たなシナリオでは、米国株式は緩やかな上昇にとどまるものの、他の地域は大幅な上昇となり、グローバル株式はこれまでよりも好調な展開になると見えています」と述べています。「米国以外の先進国株式に牽引され、グローバル株式は上昇が続くと予想されますが、大幅なオーバーウェイトにまで舵を切るべきだとは考えていません」。

GIC は 2015 年 10 月、米国の企業業績や株価に対する楽観的な見方を後退させたことを背景に、2011 年 9 月以降ほぼ全期間を通じて継続してきたグローバル株式に対するオーバーウェイトのスタンスをニュートラルに変更しました。

日興アセットの世界各拠点の運用プロフェッショナルにより構成された GIC は、欧州、日本およびアジア太平洋(日本を除く)の株式が今後 6 カ月間にわたりアウトパフォームすると予想しています。一方で、米国は相対的にアンダーパフォームすると見込まれるため、米国株式をアンダーウェイトとしています。

GIC は、ユーロ圏の米ドルベースの株価は、ユーロ下落を受けて弱さを見せた過去 3 四半期の後、企業収益の増加と地域経済の成長が持続することにより回復すると予想しています。

また、日本株式については、環太平洋経済連携協定(TPP)の各国批准手続きなどに遅れが出れば一時的に逆風となる可能性はあるものの、企業業績の向上がプラス材料になるとみています。

ジョン・ヴェイルは、「アベノミクスは、特に日本企業に関して十分に機能しており、2015 年第 3 四半期の税引き前利益は製造業と非製造業の両業種ともに歴史的な高水準にまで急増しました。株式投資家から見ても非常に優れた効果を上げているということができ、これは今後も続くとみていま

日興アセットマネジメント株式会社

〒107-6242 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

www.nikkoam.com

す」と述べています。

通貨に関しては、中央銀行の金融政策の乖離が続くとみられることを背景に、2016 年は米ドルの上昇が予想されます。FRB(米連邦準備制度理事会)は今月に利上げを開始した後、2016 年の政策会合で 1 回おきに 25 ベーシスポイントずつ利上げを実施するとみられます。

一方、対米ドルで 110~115 円まで円高が進んだ場合、日銀が追加緩和策を取る可能性もあります。ECB(欧州中央銀行)については、利上げを予定する FRB との乖離が際立つことを望んでいないことから、今後の金融緩和は穏やかなものになると GIC は予想しています。

原油について、GIC は 2016 年 6 月末時点のブレント原油価格を 1 バレル 43 ドル程度と予想しています。世界経済が堅調を維持していることから、原油価格は足元の下落から安定化に向かうとみられます。MENA(中東・北アフリカ)で地政学的リスクが増大していることから、原油供給混乱の可能性に対する懸念が投資家の間に生じつつあります。

日興アセットの GIC は 12 月 8 日に会合を開き、世界経済情勢の四半期レビューを行いました。世界中の運用プロフェッショナルの調査結果に基づき、日興アセットは世界の主要な市場と資産クラスについてのハウスビューを定期的にアップデートしています。最新の主な見通しは以下のとおりです\*。

- 日本： 2016 年 1 月~6 月末の GDP 成長率は 0.8%(季節調整済み、前半期比)。  
株価は 2016 年 6 月末までの半年間に TOPIX で 7.5%上昇(円ベース)
- 米国： 2016 年 1 月~6 月末の GDP 成長率は 2.7%(季節調整済み、前半期比)。  
株価は 2016 年 6 月末までの半年間に S&P 500 で 3.0%上昇(米ドルベース)
- ユーロ圏： 2016 年 1 月~6 月末の GDP 成長率は 1.3%(季節調整済み、前半期比)。  
株価は 2016 年 6 月末までの半年間に MSCI Europe で 15.2%上昇(ユーロベース)

以 上

\* 日興アセットの基準日である 2015 年 12 月 4 日からの比較。

(注)特に断りのない限り、日付はすべて暦年ベースです。

当資料は日興アセットマネジメントが市場環境等についてお伝えすること等を目的として作成した資料であり、特定商品の勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。資料中において個別銘柄またはセクターに言及する場合がありますが、これは当該銘柄またはセクターの組入れを約束するものでも売買を推奨するものでもありません。当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表等は、特に断りのない限り当資料作成日現在のものです。また、当資料に示す意見は、特に断りのない限り当資料作成日現在の見解を示すものです。当資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。当資料中のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。尚、資料中の見解には弊社のものではなく著者の個人的なものも含まれていることがあり、予告なしに変更することもあります。

当資料は弊社の広報担当者の事前の許可なく転載及び引用される事を固く禁じております。内容についてご不明な点等ございましたら弊社広報 03-6447-6775 までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

## 日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表するグローバルな運用会社であり、世界の投資家の皆様に一流の投資ソリューションを提供しています。世界 30 以上の国から集まる豊富な人材を世界 11 カ国に擁し、約 200 名 \*の運用プロフェッショナルが約 17.5 兆円\*\*の資産を運用しています。55 年の実践を経た投資哲学をアジアから世界へ広げていきます。  
(上記データはすべて 2015 年 9 月末現在)

\* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

\*\* 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の 2015 年 9 月末現在のデータ

## 日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会

日興アセットマネジメント株式会社

〒107-6242 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

www.nikkoam.com